

土砂災害

土砂災害警戒区域

土砂災害警戒区域は、「土砂災害防止法」に基づき、神奈川県が指定しています。「急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）」による災害への注意が必要な区域として、一定規模を超える斜面地及びこれに接する区域が指定されています。

参考 「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」
通称：「土砂災害防止法」（平成13年施行）

土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）は傾斜地の形態に着目し、一律に指定されるもので、指定基準は、次のとおりです。（右図参照）

- 傾斜度が30度以上で高さが5m以上の区域
- 急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
- 急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍以内（50mを超える場合は50m）



市では、情報伝達手段の整備を行うなど、円滑な避難体制の整備を進めていきます。

ハザードマップを活用して、周囲の急傾斜地（がけ等）を日ごろから確認・点検しましょう！

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）に注意

一瞬にして崩壊します！

- 雨や地震などの影響によって、急激に斜面が崩れ落ちます。
- 崩れた土砂は、斜面の高さの2倍以上離れた場所まで届くことがあります。
- 突然発生し、スピードが速いので、危険を感じたら、すばやく避難してください。

日ごろからの備え

- 避難場所や避難経路を決めておきましょう。
- 日ごろから危険箇所の確認・点検をし、避難時には安全な道を選びましょう。
- 市が発表する情報に注意しましょう。
- お年寄り、子ども、病気や障がいのある方の避難方法等について話し合い、お互いに助けあいましょう。
- 土砂災害についてしっかり理解しておきましょう。

こんなところが危ない

- がけにひび割れが生じている。
- がけの上部がせり出している。
- 高く急ながけになっている。
- がけから水が湧き出したり、表面の水が流れている。



- 斜面からの水が滲る。
- がけから水が湧き出る。
- 斜面にひび割れや変形がある。
- 小石がばらばら落ちてくる。



洪水・河川災害

水位情報に注意して早めの避難を

河川の水が堤防から溢れた場合、または河川の堤防が破堤した場合に洪水が発生します。

河川水位と避難情報

- 境川、柏尾川、引地川、目久尻川、小出川は、神奈川県によって水位が観測されている河川で、避難の目安となる水位（避難判断水位）に到達すると、藤沢市が対象地域の避難指示等の有無を判断します。



雨の降りかたに注意してください

- 集中豪雨が発生すると、市街地ではマンホールや側溝から水が溢れる可能性があります。
- 藤沢市では、今後の降雨予測や状況によって、避難情報が発表されることがあります。

1時間に10～20mmの雨 ザーザーと降る雨。地面からの跳ね返りで足元がぬれる程度の雨です。	1時間に20～30mmの雨 どしゃ降り。傘をさしていても濡れてしまうほどの雨です。	1時間に30～50mmの雨 バケツをひっくり返したような激しい雨。	1時間に50～80mmの雨 滝のように降り、あたりが白く白っぽくなります。
---	--	--------------------------------------	--

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報とは、大雨警報発表後も雨が降り続き、土砂災害の発生の危険性が高まったときに、神奈川県と横浜地方気象台が共同で発表する防災情報です。土砂災害警戒情報が発表された時は『いつ土砂災害が起きてもおかしくない』という非常に危険な状態です。情報は市町村単位で発表されるので、住民のみさんの自主避難の判断に活用できます。



土砂災害警戒情報が発表されたら

- 危険箇所（山やがけ、斜面等）からすぐに離れましょう。
- 藤沢市が発表する避難情報に注意しましょう。
- 周囲の様子をよく観察し、前兆現象を見逃さないようにしましょう。
- 特に、自宅付近にがけなどがある場合は、早めの避難を心がけましょう。



避難情報に注意してください！

災害の危険や不安を感じたら、安全な場所へ避難できるよう準備をはじめましょう。

ラジオやテレビ、インターネットなどで正確な情報を集めましょう。

正しい情報を集めることが大切

- 周囲の状況によく注意しましょう。
- 備蓄品の確認をしましょう。
- 非常持ち出し品を準備しましょう。



日ごろから、水や食料などを備えることが大切です。

避難場所や避難経路の確認をしましょう。

危険な場所からすみやかに離れてください。

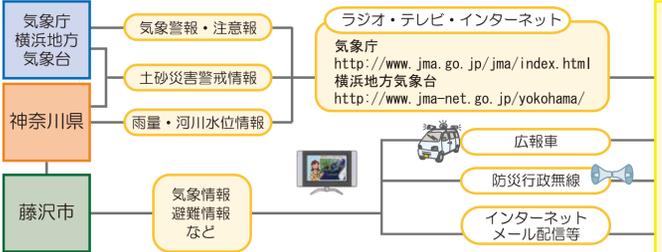
令和3年5月20日から防災情報が5段階の警戒レベルで提供され、住民の皆さんのとるべき行動の対応が明確化になりました。

警戒レベル	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
住民の皆さんのとるべき行動	▼災害への心構えを高めましょう。 情報収集	▼避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。 避難所までの道のり、避難するタイミング等	危険な場所から高齢者等は避難 ▼避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	危険な場所から全員避難 ▼速やかに危険な場所から避難へ避難しましょう。命を守るための最善の行動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	▼既に災害が発生している状態です。命を守るための最善の行動をとりましょう。
避難情報等	早期注意情報（気象庁）	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）	高齢者等避難※3	避難指示※2	緊急安全確保※1

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。
※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

防災気象情報を入手する

防災気象情報は、各機関から下のような経路で伝達されます。市民の皆さんは、ラジオ・テレビ・インターネットなどを活用して情報を収集してください。また、避難先でもこれらの情報が受け取れるように備えましょう。



防災ラジオ

緊急性の高い情報について、防災行政無線と連動してラジオ湘南から発信される緊急放送を自動受信することができる防災ラジオを有償で頒布しています。



メール配信

防災気象情報がメールで受信できます。空メールを送信し、登録してください。

ふじさわメールマガジン 検索



藤沢市役所 0466 (25) 1111

災害の発生を知ったときはあわてず落ち着いてご連絡ください。

土砂災害警戒区域とは

- 「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）」に基づき県により指定された区域で、土砂災害への注意が必要な区域です。
- 市は、情報伝達体制や避難体制の準備を進めています。
- あらかじめ避難場所や避難経路を確認しておくとともに、お年寄り、子ども、病気や障がいのある方の避難方法等について、話し合っておきましょう。

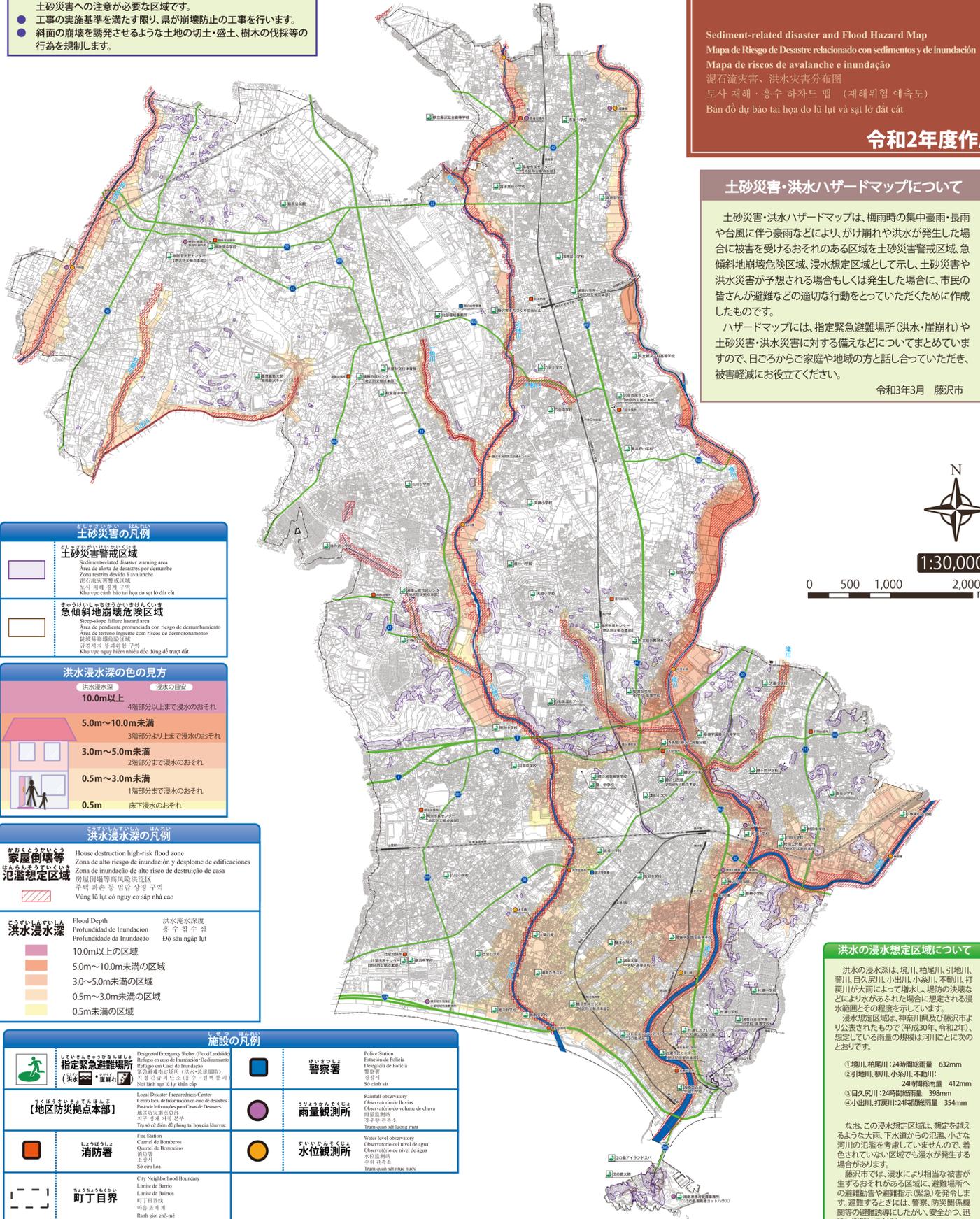
急傾斜地崩壊危険区域とは

- 「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律（急傾斜地法）」に基づき県により指定された区域で、土砂災害警戒区域と同様に、土砂災害への注意が必要な区域です。
- 工事の実施基準を満たす限り、県が崩壊防止の工事を行います。
- 斜面の崩壊を誘発させるような土地の切土・盛土、樹木の伐採等の行為を規制します。

家屋倒壊等氾濫想定区域とは

一定の条件下において、家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域

- 気象情報：気象予報・警報
URL：http://www.jma.go.jp/jma/index.html
- 神奈川県雨量水位情報（藤沢土木事務所を選択してください）
URL：http://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/web_general/suibou_joho/
- 神奈川県土砂災害警戒情報システム
URL：https://dosyaisaigai.pref.kanagawa.jp/php/map.php



土砂災害・洪水ハザードマップについて

土砂災害・洪水ハザードマップは、梅雨時の集中豪雨・長雨や台風に伴う豪雨などにより、がけ崩れや洪水が発生した場合に被害を受けるおそれのある区域を土砂災害警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域、浸水想定区域として示し、土砂災害や洪水災害が予想される場合もしくは発生した場合に、市民の皆さんが避難などの適切な行動をとっていただくために作成したものです。

ハザードマップには、指定緊急避難場所（洪水・崖崩れ）や土砂災害・洪水災害に対する備えなどについてまとめているので、日ごろからご家庭や地域の方と話し合ってください。被害軽減にお役立てください。

令和3年3月 藤沢市

洪水の浸水想定区域について

洪水の浸水深は、境川、柏尾川、引地川、小出川、目久尻川、不動川、打尻川が大雨によって増水し、堤防の決壊などにより水があふれた場合に想定される浸水範囲とその程度を示しています。浸水想定区域は、神奈川県及び藤沢市より公表されたもので（平成30年、令和2年）、想定している雨量の規模は河川ごとに次のとおりです。

- 境川、柏尾川：24時間総雨量 632mm
- 引地川、野川、小糸川、不動川：24時間総雨量 412mm
- 目久尻川：24時間総雨量 398mm
- 小出川、打尻川：24時間総雨量 354mm

なお、この浸水想定区域は、想定を超えるような大雨、下水道からの氾濫、小さな河川の氾濫を考慮していませんので、着色されていない区域でも浸水が発生する場合があります。藤沢市では、浸水により相当な被害が生ずるおそれがある区域に、避難場所への避難勧告や避難指示（緊急）を発令します。避難するときには、警察、防災関係機関等の避難誘導にたがひ、安全かつ迅速に避難してください。